

# 新しい活動スペースの創出 ~建築設計方法の探求~

### ■ 設計プロセスに関する研究

新旧の設計方法を研究し、これからの建築設計の方法を模索しています。  
たとえば、日本の昭和を代表する建築家の一人である村野藤吾は、手描きの時代に特徴的な設計図面とともに芸術的かつ個性的な作品を数多く遺しました。中世の工匠のようにものづくりに没頭し、日本の伝統的な技術を生かした設計を展開しました。その設計プロセスを記録、分析してこれからの建築設計に役立てようとしています。

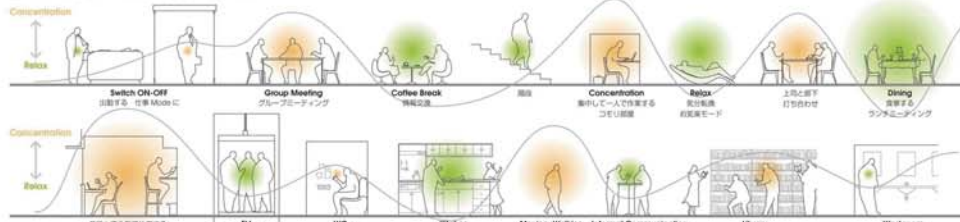
### ■ これからの設計と新しいツールの追求

ハコモノを設計する時代は終わり、人々の活動や感覚により寄った設計をすることが求められています。そのような観点で、実際に建物を使うユーザーや実在する環境を対象にして、調査や分析を行なうことでこれからの建築の在り方を模索しています。  
また、BIM (building information modeling) などの最新のツールを活用して、環境や法規の課題を同時に解決する検証を含む包括的な設計方法を模索しています。

### ■ 設計提案

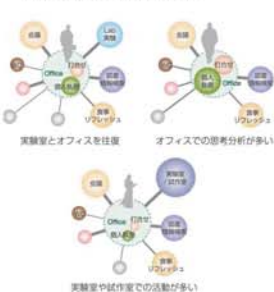
イノベーションを起こすための空間づくりを設計提案という形で提案します。ニーズの聞き取りから始め、様々な技術的な調査を経て、複数の設計案を提示します。提案を囲んで同意形成を行い、一つの計画案をつくりあげます。つくりあげた計画案をもとに、実施設計を行い、実際に建設することも可能です。  
学生は、リアリティのある計画に関わることで、緊張感のあるものづくりの場に参画できます。企業は、先進的なプランを手にして、これからのイノベーション環境を考えることができます。

### ■ コンセントレーションとリラクゼーション

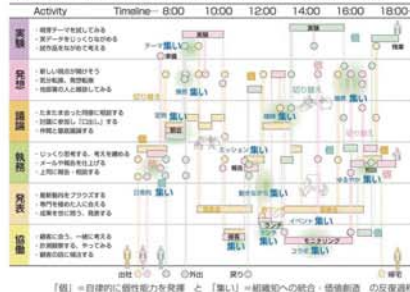


人間の生体リズムに寄り添える様々な場を提供します。

### ■ 「集い」と「個」の共存 様々なタイプのナレッジワーカー



### アクティビティモデルの分析 「交流機会の同期」「場の多様な使用」



個々のワーカーの活動エリアと活動時間帯を分析して、設計に生かします。



活発なコミュニケーションを育むアトリウム

つなげる空間を偶発的な出会いの場と捉えてコミュニケーションを誘発します



ランドスケープデザイン



呼吸する外壁



居場所の創出



自然素材の活用



日本の伝統空間を継承



設計実績 (KAJIMA DESIGNにて担当したもの)